

いつかの二人

作・佐藤かつら

【キャスト】

A…女。少しお姉さん風。

名前は、演じる本人の名前で。

B…女。少し妹風。

名前は、演じる本人の名前で。

第一場

AとBは幼稚園児。

AとBはそれぞれケンケンで遊んでいる。

Bはふとあたりを見回す。

B、もう帰る。

帰れば。

Aちゃん、おうち帰らないの。

A B

Aは地面に何かを描く。

Bも地面にかがみこむ。

Aちゃん、それなに？

：ぶらつくほーる。

それ何？

A B

あ、アリさん。

A B

アリさんって何食べてるのかなあ。

アリって食べられるんだよ。

A B

アリって、食べるとおいしいんだよ。

ほんと？

A B

ほんと。

あまい？

A B

あまい。

A B

Aちゃん、食べたの？

A B

二人、顔を寄せ合い、B、アリを食べる。

A B

あー、Bちゃん。アリ食べた。

A B

：！？

A B

食べたー。きたない。

A B

AとB、小競り合いをし、じきにBは泣き出す。

A 泣くな。
B 泣くな。
A 泣いてない。
B 泣いてない。
A 泣いてる。
B 泣いてる。
A 泣いてる。

その繰り返し。

第二場

9歳くらいのAとB。
ピアノのお稽古バッグを持っている。稽古帰りらしい。

B 遅くなっちゃったねー。
A 泣いてない。
B が怒られるのはいつでもだけど、Aちゃんは珍しいねえ。
A 怒られてない。

B、Aの言うことは聞かず、ピアノを弾くまねをして鼻歌を歌う。

A 怒られてないからね！
B (びっくりする)
A 泣いてない。
B Aちゃん、怒ってる？
A 怒ってない！
B Aちゃん、すぐ怒る。

そのまま立ち去ろうとするA。

B チビんとこ、寄っていかないの？
B、今日、シーチキン持ってきたんだ。

B、カバンから缶詰を出して、地面に並べる。

A あたし、ピアノやめる。
B え？

A ピアノ、もうやめる。

お教室、Bちゃん、これから一人で行きな。

B え、なんで？ 先生に怒られたから？

A ちがう。

B Aちゃん、すごく上手なのに。もうアラベスクのところなのに。

A ∴。

B なんで？

A なんでも。

B なんで？

A ∴。

B じゃあ、Bもやめる。

A ∴すぐまねする。

B やめるもん。Aちゃんやめるなら、あたしもやめる。

A やめるな。

B やめるやめるやめる∴

A、Bを突き飛ばす。B、転ぶ。

A Bちゃんは！

やめる必要ないじゃん！

おうちにお母さんもいるし！

ひっこしなくていいし！

B ひっこし？

A ちゃん、ひっこしするの？

どこに？ え、転校するの？

A ∴仙北町。

B え？ 近くじゃん。

転校しなくてすむじゃん。よかったー。

A ∴転校するなんて言っていない。

B あ、そうか。

A え？ じゃあ、何でひっこしするの？

A ∴。

二人、ふと上を見上げる。

B 雨。

A ∴チビ！

B あーチビ、濡れちゃう。

二人、駆け出していなくなる。

…そこでB、あわてて戻ってくる。
缶詰を回収し、再び去る。

第三場

第二場のつづき。

二人、泣きながら出てくる。

Aは我慢しつつ。Bは大泣き。

(泣きながら) Bちゃんが悪いんだからね!

(泣きながら…以下同じ) だって、Aちゃんだって。

あたしは言った。だめだって言った。

だって。だって。雨、ひどかったし。

やったのはBちゃんだからね。

でも、Aちゃんが、ビニール袋見つけたから…。

見つけただけじゃん。

だって。チビ、雨に濡れたら、かわいそう…死んじやうかもって。

泣くな。

Aちゃん…。

Bちゃんのバカ。

…うん。B、バカだから。

Aちゃん、ごめんね。

あたしにごめんて言うな。

チビに言え。

チビにごめんなさいって言え。

(再び、大泣き)

チビ、死んじやったんだよ。

死んじやったら、会えないんだよ。

絶対、会えないんだよ。

チビはー、チビのお母さんにももう会えないんだよ。

二人とも大泣き。

お母さーん。

泣くな。

帰る。

Bちゃんの甘えんぼ。

帰る。

Bちゃん帰ったら、絶交ね。

B お母さん…
A 絶交なんだからね。

B、立ち去る。

A (Bに) 帰ればいいじゃん。帰れば。
…お母さんのところに。

A、その場にしゃがみ込む。
暗転。

第四場

二人、中学一年。
学校からの帰り道。
Aは早足で歩き、Bがその後をついてくる。

B Aちゃん！
A …。

B Aちゃん、なに怒ってるの？

A、立ち止まる。Bも。

A 怒ってない。
B 怒ってる。

A … Bちゃん、勝手にあたしの名前、出さないで。
B え、なに？

A 合唱。
B え？

A 合唱コンクール。
B あ。だって。

A だってじゃない。
B Aちゃん、いやだったの？

A Bちゃんが頼まれたんだから、Bちゃんがやればいいんじゃない？
B だって、Bのピアノ、すごい下手くそなんだよ。
まだツエルニーの百番も終わってないし。

A でも、あたしを推薦しなくってもいい。
B え？ だって。

A ちゃん、ピアノすごくうまいじゃん。
ユウ君だって、A ちゃんのショパンほめてたし。
あたし、合唱の伴奏なんてしたくない。
あ、歌う方がいい？

A でもA ちゃん、悪いけど…（笑）オンチじゃん。
関係ない。したくない。

B え？ だって、ずっと前、言ってたじゃない。
合唱のピアノ、いいなあって。

中学生になったら、絶対伴奏係やるんだって。
歌歌うより、ずっといいって。

A 忘れた。

B だから、モガミ先生に言われたとき、

A ちゃんがやります、って言ったんだよ。

A B ちゃんのバカ。

…あたし、もうずっと昔にピアノやめてるし。

そんな子に、どうしてピアノやれます、なんて言うの？

B え？ だって、A ちゃん、お稽古やめただけじゃん。

うちのピアノ、弾いてるって言ってたじゃん。

A アパートに、ピアノなんか置けるわけないじゃない。

そんなのもわかんないの。

B でも…、B …、やっぱり、A ちゃんの方が、ずっと、上手だと、思うな…（だんだん

自信なくなる。）

A B ちゃんのバカ。

B ごめんね…。

A バカ。

B ごめんね。（泣く。）

A 泣くな。

B ごめんね…。

A 泣くな。

B ごめんね。

A も泣きそう。

でもそれにB は気づかないのだ。

A、立ち去る。

遠くからA の声。

A もうB ちゃん、絶交ね！。

第五場

二人は高校生。

学校帰り、電車で揺られるB。

そこにAが乗ってくる。

B あ、Aちゃん…

A あ。

間

A いつもこの時間？

B うん…

B 荷物、もつ？

A ううん。いい。

何となく気まずい。

B あ。テニス部なんだ。

A ううん、バドミントン。

B ああ…

素振り千回、とか？

A (少し笑って) そんなにしない。

B あたし、茶道部。

A え？

お茶。(とお茶を点てるまね)

B 素振り？

B 素振りはない。

二人、少し笑う。

B 先週、チビが死んじゃったんだ。

A え？

覚えてない？ チビ。

A あ、あのあとの…

B そう、二代目の。

A そう…

B うん…

A 泣いたでしょ。

B え？

A Bちゃん、泣いたでしょ。
B 泣かないよ！

B ……ほんと泣いた。
A うん…

B 三日泣いた。

A Bちゃん、泣きすぎ。

B うん…

A Bちゃん、いつも泣く。

B うん、ごめん。

A ……Bちゃん、ユウ君と付き合ってるんだって？

B あー、うん…。誰から聞いた？

A ……なんとなく。

B ふーん…そうなんだ。

B ……ごめんね。

A なんでごめんとか言うの。

B うん、ごめん。

次の駅、Aは電車を降りる。

B Aちゃん、駅、違う。

A じゃあね。

第六場

二人、八十代。

老人の介護施設。

施設の職員1に連れられてB。

職員1 Bさん、こっちの方があったかいでしょー？

B はあい。

反対側から、職員2に連れられてA。

職員2 あれ？（Aに）いい場所とられちゃったねー。

A （モグモグ）

職員1 （Bに）一緒にいいですよー？

B はあい。

職員2 (Bに) Aさん新入りさんだから、いろいろ教えてくださいね。

(二人に) お友達になってくださいねー。

職員1・2、二人を座らせて出ていく。
ひなたぼっこをする二人。

B : なんでここにいるんですか？
A : はいー？
B : なんているんですかー？
A : はー
B : なんで私はここにいるんですかー？
A : (モグモグ)

じきに二人、地面のアリを気にしはじめる。

B : アリさん。
A : (モグモグ)
B : アリは甘いです。
A : はー？
B : 昔、アリをよく食べました。
A : はー。

顔を寄せ合い、二人ともアリを食べはじめる。

B : おいしい？
A : おいしい。
B : ほんと？
A : うん。
B : あまいねー。

二人、その繰り返し。
いつの間にか二人は、子供に返る。

B : あまいね、Aちゃん。
A : :
B : ねちゃったの？
A : :
B : おかあさーん、Aちゃん、ねちゃったー。

Aは地面に丸くなる。Bもそれに寄り添うように横になる。

あたりは暗くなる。

おわり。

〈おねがい〉

この戯曲は、「佐藤かつら戯曲館」への掲載にあたり記号の表記などを一部改めて打ち直し、体裁を整えたものです。ダウンロードして練習脚本などとしてお使いいただくことができます。実際に上演される際は「佐藤かつら戯曲館」ホームページにあります「上演を検討される方へ」をお読みの上、ご連絡ください。

〈参考〉

2019年上演時の使用楽曲
・パッヘルベル『カノン』